

「森林総合研究所四国支所 一般公開 2019」 に参加しました

国立研究開発法人 森林研究・整備機構
森林整備センター
中国四国整備局・高知水源林整備事務所

中国四国整備局及び高知水源林整備事務所は、令和元年10月26日（土）に、高知県高知市において「国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所四国支所 一般公開 2019」に参加しました。

このイベントは森林総合研究所四国支所を一般公開として開放し、子どもから大人まで樹木や自然環境等への理解を深めていただくことを目的として、毎年この時期に開催されています。

一般公開では、四国支所内の実験林・樹木園の案内やミニ講演会（今回は「四国の森のけものたちと森林被害」と「花粉から明らかにする龍馬が生きた時代の森林」を講演）が行われました。また、過去の研究成果の公開や森の博士検定クイズ、工作コーナーなども設けられ、1日で約170名の来場者がありました。

森林整備センターは、水源林造成事業のPRとして、「私たちのくらしと水源の^{もり}づくり」、「高知県の水源林造成事業地」、「水源林ってなんだろう」のパネル展示や来場者へのパンフレット配布を行いました。

中国四国整備局は、今後も研究開発業務との連携を図りつつ、このようなイベントを通して、地域の皆様に水源林造成事業の理解を深めていただくための取り組みを行ってまいります。



当センターのブースの様子



ミニ講演会の様子